

第 5 回 總 會 案 内

本年は下記の計画の下に神戸市妙法寺小学校で第5回総会を開催しますから、御出席下さいますよう、御案内申し上げます。

場 所 神戸市須磨区妙法寺、市立妙法寺小学校、順路神戸市電板宿終点又は山陽電鉄板宿駅下車、北約2km。(バスの便あり)

日 時 昭和27年5月~~6~~¹⁰日(土)、~~7~~¹¹日(日)

10日 9~12時

教材園利用現地授業。現地説明、教材園経営の概要説明13~15.5時 会員研究発表、学会報告。

15.5~18時 講演三木茂博士、六甲地質及び白川化石群について。

18~19時 夕 食

19~22時 講演徳田御稔博士、生物の進化について

11日 9~12時 白川化石層の化石採集

13~14時 現地講演、終了後解散

雨天の場合は、妙法寺小学校で三木、徳田両博士の講演会、15時終了。

研究発表 研究発表の範囲を今回に限り教材園、学習

園、校外指導とする。人数5名(1人20分、討議5分) 締切 2月下旬(申込所、神戸市長田区兵庫高校、室井紳宛)。

申込者は原稿用紙に大要を横書きとして提出して下さい。

備考、宿泊所、妙法寺小学校、毛布1枚、夕食及び米3合持参(11日の朝中食用)代金120円雑費20円を含む)。

宿泊希望者は4月末日までに、往復ハガキを用いて、神戸市須磨区妙法寺、市立妙法寺小学校宛申し込んで下さい。定員70名、満員の時はハガキで御断りします。

化石採集はリュックサック、古新聞紙、ノート、採集用タガネ、金槌を御持参下さい。

白川化石層は日本有数の採集地で、昨年末には米国のチェネー博士、三木博士などの1行がわざわざ採集に来られました。小学校初め化石が教科書にも出ていますから、御参加を御すゝめします。

總會費 100円(プリント代、その他)

妙法寺小學校、自然教育學習園

同校の学習園は面積6000坪で山地、平野、耕作地、池等があつて非常に変化に富んでいる。しかもこれらが校地続きであるため、経営の上にも、活用の上にも都合がよく、他校から参観するのにもかなり便利である。新しい教育のねらいは、各教科共、児童の生活をおこんだところの生活学習が中心になり、科学的な精神の育成にあることはあらためて述べるまでもないが、この意味に於ても、最近では特に生物教育が盛んとなつて、各校とも教材園、学習園等の経営がなされ、其他色々の施設が行なわれる様になつて来たことは、誠によき事である。

妙法寺小学校の自然教育學習園の経営については、面積に於ても、経営の構想の實際に於ても、又各教科に汎用する面に於ても、新しい教育にふさわしい経営がなされており、大変参考となるものがあり兵庫県下にも、その類例を見ないであろう。これはよく職員一体の熱と努力の賜のものであると自から頭が下る。経営については、金の問題や人の問題等色々困難な条件を伴うのであるが、それをかくもよく克服出来たものであると、全く敬服せずにはおられない。しかも外観の

みならず、教育の實際に於ても相当の効果を挙げている点である。又、ただ生物の教育のみではなく、他教科にも活用出来るように創意工夫されている事は、特異性をもつて学校だといつてもよからう。即ち昆虫採集、動物の飼育、淡水魚の飼育、養蜂等の他に気象観測の施設も充実しており、自然をよく活用して、教育的に準備されている。山林原野にある自然の植物だけでも800種もあつて、其他必要な草木も栽培され、そのラベルをみただけでも知らず知らずの間に学習が出来るように工夫作製している。

学習園の様子は、児童学習園、薬草園、花卉園、ヒヨウタン池、観賞園、水生植物園、果樹園、種苗園に区分され、栽培の状況は庭園式な小規模なものではなく、群落的な規模のもとに集団美をいかしてあるのみならず強き印象を与える点に於いて至極望ましい姿である。夜間昆虫採集場も設置されて先生達の研究も進められている。

教育の實際況用に於ては、この学習が校地続きにある点に於て1つの野外教室といつてよいであろう。児童は自由に自然に親しむ事ができるので、動物、植物

に関する事のみでなく、科学教育の分野の大部分がこの教材園を通して学習出来るように苦心してあるといつても過言ではあるまい。自然に親しむ事によつて、各学年の程度に応じて自然に興味がわいて来て学習が出来、新教育の目標に合致するように工夫、努力が払われている。

自然に親しみ、自然界と現象とを観察する能力。

自然の調和、美しさ及び自然の恵みを知る。

生き物を可愛がり育てる態度。

ねばり強く助けあつてする。

等の精神が養われると同時に、勤労を愛し、働くことを喜ぶ精神が養われるであらう。特に生き物を可愛

がり、育てる態度については動物飼育がなされ鶏、アヒル、山羊等が園内に放養されて児童のよき友達、遊び相手となり理科的方面のみならず、情操方面にまでも知らず知らずの間に陶冶されている。なおこの他健康増進の上にも見るべきものがある。

この様に児童の生活と理科單元が一体化する上に非常に都合よく経営されつゝある事は範とすべきことであらう。

以上概要を記述したのであるが、神戸市内の学校の視察は勿論、県下の郡市、他府県の高、中、小学校からも視察にこられる人が多く各方面からも今後益々整備される事を期待されている。 (編集子)

発行所	兵庫縣生物学会	印刷所	高田印刷紙器工廠 電話須磨⑦一六三番	印刷人	高田一市	會計	澁谷久雄 振替番号神戸壱七五〇壱番	同人	古川博二 明石市大蔵谷 県立明石高等学校	編輯者兼 發行者	室井 綽 神戸市長田区寺池町一丁目 縣立兵庫高等学校	昭和二十七年一月十五日印刷 昭和二十七年一月二十日発行	【非賣品】
-----	---------	-----	-----------------------	-----	------	----	----------------------	----	----------------------------	-------------	----------------------------------	--------------------------------	-------

教育「**學習**」
雜誌

一年の學習
 二年の學習
 三年の學習
 四年の學習
 五年の學習
 六年の學習

月刊誌

中學コース
の光

東京都太田区南千東町四六

株式會社 **學習研究社**